

すんでみはら。

1

January
Vol.202

..... 三原に住む若者が語る、三原の魅力

大好きな三原で過ごす 充実の大学生活

大学生 ● 入田谷 実穂
University student / Miho Iritaya



みんなで作るダンス動画

大学のサークルで制作。コロナで会えなくても一緒に「作る」ことができうれしかったです。

三原の若者にQ&A

Q 地元の大学に進学した理由は？

A 地元である三原を離れたくないので、自転車でも通える市内の大学を選びました。地域密着で学べる環境も魅力的だと思います。

Q コロナ禍の大学生活で感じることは？

A オンライン授業が続いた時期は、友人と会えないことで寂しさを感じる反面、友人や家族の大切さに改めて気づきました。



◀ 大学での様子



▶ 自宅で授業

育ててくれた祖父母に恩返しをしたいという思いから、福祉の道に進んだ入田谷さん。大学で子どもの発達支援から高齢者の認知症ケアまでを学び、卒業後は市内の病院や福祉施設で働くことをめざしています。大学ではダンスサークルに所属するほか、飲食店や老人ホームでアルバイトをするなど、さまざまな経験を積んでいます。お正月には神社で巫女として地域に奉仕しています。「将来は三原で暮らしながら、高齢者も楽しく過ごせるまちづくりに取り組みたい」と話します。